

- 問1 九州地方の筑紫平野に関する説明として、温暖な気候や土地の高度な利用方法の観点から、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 連作障害を防ぐために、数年ごとに栽培する作物を入れ替える輪作を大規模に導入している。 | 2. ビニールハウスを利用して夏野菜の成長を早める促成栽培を行い、冬の出荷額を高めている。 | 3. 稲作の収穫が終わった後の水田を裏作として活用し、小麦などを栽培する二毛作が盛んである。 | 4. 1年のうちに同じ水田で2回米を収穫する二期作を行い、食料自給率の向上に貢献している。 |
|---|---|--|---|
- 問2 日清戦争の賠償金を資金の一部として官営の製鉄所が建設され、日本の重化学工業化を支えた地域がある。現在、この地域を含む県では、北九州市を中心に環境産業を集積させたエコタウンが形成されている。この県として最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山口県 | 2. 広島県 | 3. 福岡県 | 4. 長崎県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 福岡県の工業は、1970年から2020年にかけてその構造が大きく変化しました。1970年時点では製造品出荷額において鉄鋼が大きな割合を占めていましたが、2020年には自動車などの生産を中心とする工業分野が県内最大の割合を占めるようになっていきます。この、近年福岡県で成長が著しい工業分野の名称を次の中から選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|--------|
| 1. せんい工業 | 2. 輸送用機械 | 3. 化学工業 | 4. 食料品 |
|----------|----------|---------|--------|
- 問4 九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため | 2. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため | 3. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため | 4. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため |
|--|--|--|--|
- 問5 九州地方に位置する宮崎県の面積や人口の特徴について、近畿地方の大阪府や兵庫県と比較して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 面積は兵庫県よりも広いが、総人口も大阪府より多いため人口密度は非常に高い。 | 2. 大阪府よりも面積は狭いが、兵庫県よりも人口密度は高い。 | 3. 大阪府や兵庫県よりも面積は広いが、人口密度はこれらの府県よりも低い。 | 4. 面積は大阪府よりも狭く、人口も香川県に次いで全国で最も少ない部類に入る。 |
|--|--------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問6 鹿児島県周辺に広がるシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、または畜産が盛んに行われてきた理由として最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 標高が高く、夏でも気温が上がらず冷害が発生しやすいため。 | 2. 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。 | 3. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の成長が早すぎるため。 | 4. 土壌が非常に硬く、田を耕すことが困難であるため。 |
|---------------------------------|------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
- 問7 九州地方の農業について、茶の生産状況を説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 九州地方では茶の生産は行われておらず、近畿地方が全国の生産の大部分を占めている。 | 2. 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。 | 3. 福岡県は、三重県や京都府を抑えて国内で最も茶の生産量が多い。 | 4. 宮崎県は、九州地方の中で最も茶の生産割合が高い県である。 |
|---|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
- 問8 九州地方に位置するある県について、その統計データを見ると、面積は約4132平方キロメートルであるのに対し、海岸線の延長が4183キロメートルと極めて長く、全国でもトップクラスの長さとなっています。また、農業ではジャガイモの生産や畜産が盛んであるこの県はどこですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 長崎県 | 2. 新潟県 | 3. 神奈川県 | 4. 福岡県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問9 沖縄県において、宿泊・飲食サービス業（8.3%）や医療・福祉（15.7%）などの第3次産業の就業者比率が、全国平均（それぞれ6.2%、12.5%）を上回っている理由や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 農林水産業に従事する就業者が不足しており、食料品を加工・提供するサービス業が唯一の産業となっているため | 2. 豊かな自然や独自の文化を活かした観光業が盛んであり、地域の生活を支える医療・福祉の需要も高いため | 3. 広大な土地を活用した自動車産業の工場誘致により、関連するサービス業の雇用が全国一となったため | 4. 製造業の自動化が全国で最も進んだ結果、余剰となった労働力がすべて観光分野に移動したため |
|--|---|---|--|
- 問10 九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 二毛作 | 3. 抑制栽培 | 4. 促成栽培 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問11 沖縄県の伝統的な家屋において、家の周囲を石垣で囲んだり、フクギなどの防風林を植えたりする工夫が見られる主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 1. 津波が住宅地に浸水してくるのを物理的に遮断するため | 2. 地震が発生した際の家屋の倒壊を石の重みで食い止めるため | 3. 冬の時期に吹く冷たい季節風が室内に入るのを防ぐため | 4. 台風による強い風の被害を最小限に抑えるため |
|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------|
- 問12 鹿児島県において、6月から7月にかけて降水量が著しく多くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 梅雨前線がこの地域に停滞しやすく、南方からの暖かく湿った空気が供給されやすいため | 2. 夏に小笠原高気圧が後退し、冷涼な北東の風である「やませ」が吹き込むことで大気が不安定になるため | 3. 年間を通じて安定した偏西風の影響を受け、瀬戸内海からの湿った空気が継続的に流れ込むため | 4. シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかり上昇気流を発生させるため |
|---|--|--|---|
- 問13 統計資料において沖縄県の観光客数や観光収入が長期的に増加している背景には、地域の産業構造の変化や社会基盤の整備が深く関わっています。その背景を説明したものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 製造業による輸出額が観光収入を大きく上回ったことで、その利益が観光地の景観維持に再投資される循環が生まれたこと。 | 2. サトウキビやパイナップルなどの第1次産業の生産を縮小し、すべての労働力を観光産業に集約させる政策が1970年代から徹底されたこと。 | 3. 県内全域に鉄道網が細かく張り巡らされ、レンタカーやバスを利用せずに観光地を移動できる交通環境が整ったこと。 | 4. 那覇空港の拡張や大型リゾートホテルの建設といったインフラ整備が進み、国内外からのアクセスと受け入れ体制が向上したこと。 |
|---|--|--|--|